



西門川中だより



平成25年度第23号(26.3.26)発行者：門川町立西門川中学校 TEL64-1031



卒業式

3月16日(日)

いい卒業式でしたね、と言っておりました。卒業生を送ろうという在校生の気持ちが、態度に、歌に、言葉に表れていたと思います。卒業生も立派な態度で



「姿勢がいい」と来賓の方にほめられた在校生の座り姿

した。いつも1, 2年生をリードし、あんなに頼りになった3年生が卒業してしまいました。これから、自分の未来を豊かにつくりあげていってくれるものと思います。いろいろな人に出会い、いろいろな経験をし、成長してほしいです。そしてときどきは中学校に顔をみせてほしいです。西門川はみんなのふるさとです。

さて不思議なもので、3年生がいなくなると、2年生がとたんにしっかりしてきます。式の後片付けでは率先して動き、早くも最上級生の顔になってきました。こうやって、西門川の良い校風が受け継がれていくんですね。

小・中連携の取り組み

理科の授業 3月20日(金)

西門川小学校の6年生が本校で理科の授業を受けました。中学校に進学しても中1



ギャップに悩むことなく、スムーズになじんでもらうための試みです。授業が短く感じた、ということです。

ホタル上陸装置

ホタルの幼虫が水から陸に上がり、土の中でサナギへと変態する



ことができるようにつくられたものです。土や砂などの上に苔がしかけています。5月ごろに羽化します。楽しみです。

1年を終えて

校長

1年生6名、2年生8名、3年生8名の全校生徒22名で、平成25年度が始まりました。今年は、これまでに体験したことのない学習がありました。まず、乙島探検です。生徒の中には、これまでに乙島に行ったことのない生徒もいました。海岸に打ち上げられたゴミを見て唾然とした生徒、いろいろな魚を釣りあげて喜んだ生徒、島内を散策して島の自然にたっぷりと触れる事ができた生徒など、充実した1日を過ごすことができました。次に、門川高校の協力を得て、「ホタル再生プロジェクト」に取り組んだことです。ホタルの幼虫の飼育や、三ヶ瀬川の水質検査等を行って、ホタルの幼虫を放流しました。また、数匹の幼虫は学校で飼育し、今年の5月頃には学校でもホタルが舞う様子が見られるかもしれません。この2つの学習は、保護者・地域・門川高校等の協力がなければ、実施することができませんでした。「ふるさと 門川・西門川」を改めて見直すことのできるよい経験ができました。本当にありがとうございました。来年度も様々な学習・活動に皆様のご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。